



ファームウェア バージョン :		R4.10.004
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10P	C1
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	
	DGS-1210-28P	
	DGS-1210-52	
発行日 :		2016/1/29

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
追加機能 :	9
修正した問題点 :	9
MIB 及び D-View の変更点 :	10
コマンドラインインターフェースの変更点 :	10
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R4.10.004	2016/1/29	DGS-1210-10P DGS-1210-20 DGS-1210-28 DGS-1210-28P DGS-1210-52	C1

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI (Telnet 経由)、WebGUI または D-Link Network Assistant から実行することができます。

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download{firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。**(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。**

DGS-1210-28> download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS-1210-28-C1-4-10-004.hex

Device will reboot after firmware upgraded successfully

Image Updated Successful

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

DGS-1210-28> show switch

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 1 hrs, 6 min, 44 secs
System Time	: 01/01/2015 01:06:22
System hardware version	: C1
System firmware version	: 4.10.004
System boot version	: 1.00.005
System serial number	: S3271DB000036
MAC Address	: 9C-D6-43-92-79-F4

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス : 10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード : admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

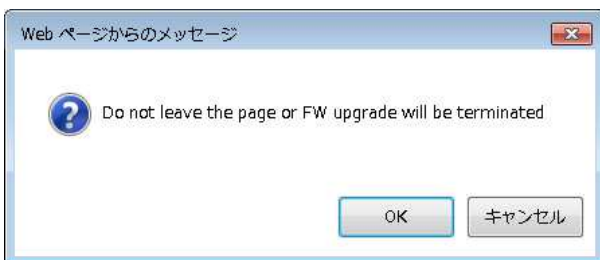
A screenshot of the 'Firmware Backup and Upgrade' web interface. The interface has a title bar with 'Firmware Backup and Upgrade' and a 'Safeguard' status indicator. There are two main sections: 'HTTP' and 'TFTP'. The 'HTTP' section is selected with a radio button. It contains fields for 'Backup firmware to file' (with a 'Backup' button) and 'Upgrade firmware from file' (with a text input field, a '参照...' button, and an 'Upgrade' button). The 'TFTP' section is unselected. It contains fields for 'TFTP Server IP Address' (with two input fields and radio buttons for 'IPv4' and 'IPv6'), 'TFTP File Name' (with an input field), 'Backup firmware to file' (with a 'Backup' button), and 'Upgrade firmware from file' (with an 'Upgrade' button').

HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) ファームウェアアップグレードが完了すると、以下の画面が表示されます。デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

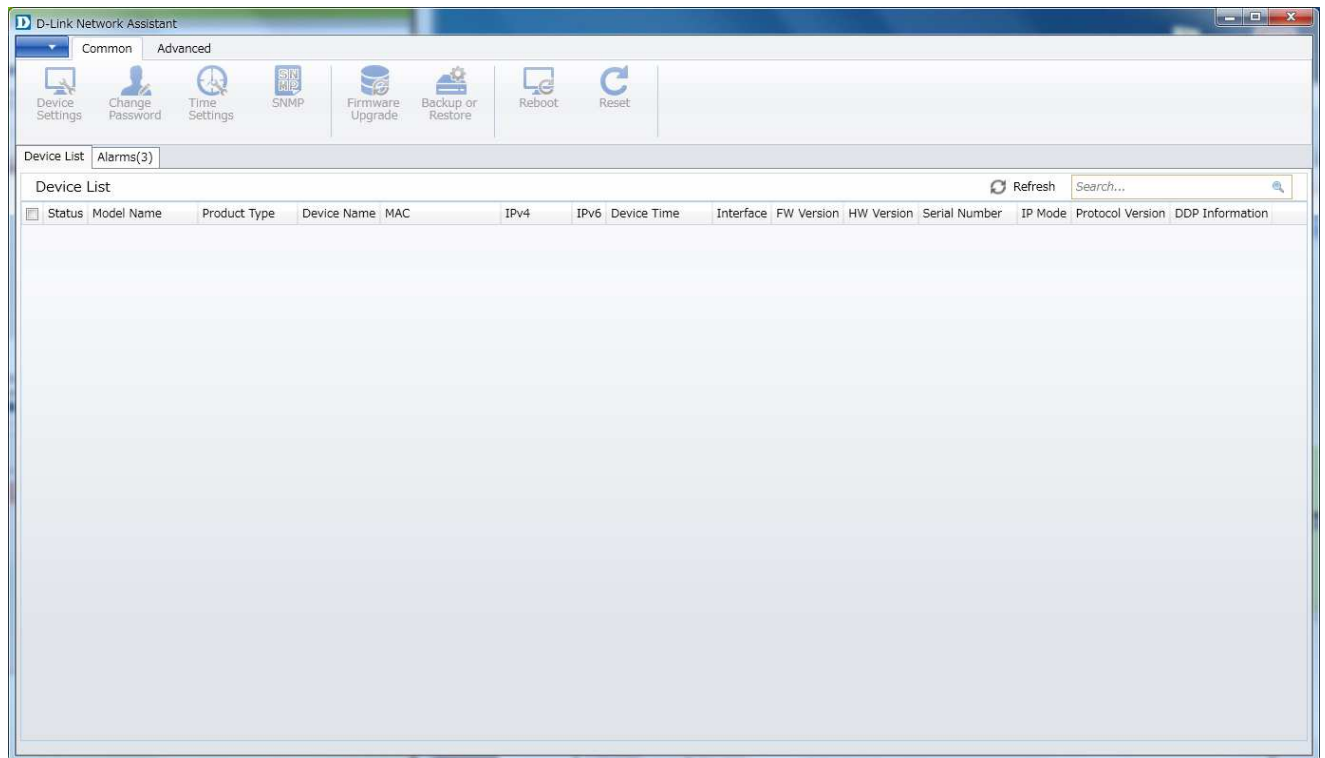
ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

D-Link Network Assistant を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. D-Link Network Assistant を起動します。



3. [Refresh] をクリックし、スイッチを検出します。
4. [Firmware Upgrade] アイコンをクリックします。
5. [TFTP IP] を選択 → [Browse] をクリックしてファームウェアを選択 → [Next] をクリックします。



6. [Notification] 欄のチェックボックスを選択 → [Authentication] 欄にユーザ名とパスワードを入力 → [Submit] をクリックします。

Firmware Upgrade

1 Firmware Upgrade 2 Confirm Summary

TFTP IP: 10.90.90.91 Firmware File: C:\¥ DGS-1210-28-C1-4-00-064.hex

Apply to All Devices

IsSupported	Model Name	MAC	IP Address	Serial Number
Yes	DGS-1210-28	70:62:B8:A2:3D:D	10.90.90.90	S3251E4000006

Notification

Warning : Do not disconnect the network or close this program during the upgrade process; unrecoverable damage to the devices may result. Please note that during the upgrade process, your devices may reboot.

☐ I understand the risks

Authentication

User Name:

Password:

Previous Submit

7. 画面が切り替わり、ファームウェアアップグレードが開始されます。完了すると [Details] 欄にアップグレード完了のメッセージが表示されます。

Firmware Upgrade

1 Firmware Upgrade 2 Confirm Summary

Result

Result	Model Name	MAC	IP Address	Details
✓	DGS-1210-28	70:62:B8:A2:3D:D	10.90.90.90	Command has been successfully executed

Close

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R4.10.004	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポート設定で自動認識スピードダウングレードをサポート致しました。 2. WebUI で Legacy PD モードオプションをサポート致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R4.10.004	<ol style="list-style-type: none"> 1. EEE のデフォルトを無効に変更致しました。 2. HTTP で WebUI に接続した際のセキュリティを強化致しました。 3. DGS-1210-52 においてパフォーマンスが出ないことがある問題を修正致しました。 4. ミラーの Target ポートで、CPU からの TX トラフィックが出力されない問題を修正致しました。 5. ログイン認証なしでコンフィグをダウンロードできる問題を修正致しました。 6. Configuration backup ボタンが動作しない問題を修正致しました。 7. Voice VLAN の問題を修正致しました。 8. MAC ACL において、マルチキャストおよびブロードキャストアドレスを設定できる問題を修正致しました。 9. LACP リンクにおける STP コストが正しくない問題を修正致しました。 10. http://10.90.90.90/config.bin もしくは http://10.90.90.90/config.cfg を開いたとき、スイッチが再起動する問題を修正致しました。 11. ACL プロトコルタイプが選択されないと、プロトコル ID 256 を表示する問題を修正致しました。 12. DHCP Discovery のリトライ時間を選択可能に致しました。 13. Windows Server 2012 R2 との LACP ネゴシエーションの確立に関する問題を修正致しました。 14. Blat attack DoS type 設定において、TCP 送信元ポート番号が送信先ポート番号と同じものをブロックするように修正致しました。 15. WebGUI で VLAN のポート設定変更ができないことがある問題を修正致しました。 16. スイッチの IP が DHCP モードの場合、TFTP サーバからファイルを取得できない問題を修正致しました。 17. Filter unregistered multicast 機能が動作しない問題を修正致しました。 18. D-Link Network Assistant において、既存の管理者パスワードを知らない場合でも管理者パスワードを変更できる問題を修正致しました。 19. PSE 仕様において、2-Event Physical Layer classification plus data link layer に変更致しました。(PoE モデルのみ) 20. CVE-2015-1789 の脆弱性に対する対策を追加致しました。 21. MAC ACL において 2MAC アドレス以上 Deny にすることができない問題を修正致しました。 22. VLAN と LBD を同時に使用した際の動作を修正致しました。 23. IGMP Leave が間違った送信元 IP で送信される問題を修正致しました。

MIB の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R4.10.004	<ol style="list-style-type: none">1. DHCPRetryTimes オブジェクトを追加致しました。2. 自動ダウングレードを追加致しました3. cableDiagPairStatusdoSCtrlDisplayState オブジェクトを修正致しました。4. poePortLegacyPDDetect オブジェクトを追加致しました。5. poePortDelayPowerDetect オブジェクトを追加致しました。

デフォルト値の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R4.10.004	<ol style="list-style-type: none">1. LLDP/LLDP-MED のデフォルトを Disabled に変更致しました。2. EEE のデフォルトを Disabled に変更致しました。

既知の問題 :

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R4.10.004	特になし

Copyright 2006-2016 D-Link Japan K.K.